



【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

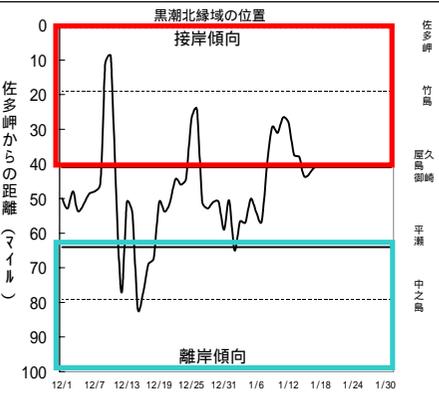
前週、竹島の南12マイル付近にあった黒潮北縁域は、1月18日現在、屋久島御崎付近まで南下した。

黒潮流軸(種子島東)

種子島南東の黒潮小蛇行が大きくなり、種子島東の65マイルで前週より10マイル離岸した。

定期客船等による表面水温

各海域の表面水温は、竹島沖、屋久島御崎、甌西が昇温した他は前週並み又はやや降温した。平年比較では鹿児島から佐多岬及び中之島が“やや低め”、他の海域は“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	前週比較	平年比較	評価
黒潮流域	21.8	-0.3	-0.7	やや低め
鹿児島	16.0	-0.5	-1.0	やや低め
佐多岬	17.9	-0.9	-0.7	やや低め
竹島	20.5	+1.1	+0.4	平年並み
屋久島御崎	20.5	+1.3	-0.4	平年並み
中之島	21.6	-0.6	-0.5	やや低め
笠利崎	21.4	-0.3	-0.2	平年並み
与路島	21.6	-0.5	-0.1	平年並み
与論	21.8	-1.0	-0.2	平年並み
甌海峡	17.4	+0.1	+0.4	平年並み
甌島西	19.9	+1.4	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は1/17～18
串木野 - 甌定期客船観測は1/18
甌島西(浮魚礁)観測は1/18

【漁況】

今週の特徴

ヨコワは1kg前後主体で前週に引き続き好調。月夜のため、まき網の水揚量は少なかった。

定置網

甌島西側では、ヨコワ(5kg)が週計で100尾、西薩南部海域では、マアジ(200g)が100kg/日、チチウオ(400g)が100kg/日、16日以降にはカクチイワシ(15cm)が1～5ト/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で44統がソウダガツオ、マアジ小、サバ類中主体に17.3ト、志布志湾南部では、週計でカクチイワシ主体にチチウオ、マアジを15.5トの入網。

キビナゴ刺網

甌島海域では、5箱/隻・日、熊毛海域では、10箱/隻・日の漁。

トビウオロープ曳

熊毛海域では、大比を30～70箱/統・日と好調。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(ト)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前年同期(第2089報)			
								前週	前年同期		
								隻数	漁獲量		
旋網	阿久根	大	2	20	サバ類小66 マアジ仔14 マアジ大9	10.0		3	42	0	-
		中	4	45	チチウオ96 マアジ豆3	11.3		4	56	4	127
	枕崎	大	2	93	内之浦沖 マアジ豆44 オアカム28 Δマアジ中9	46.5	好調	3	131	1	30
		中	5	42	佐多沖 マアジ中36 ウルメイワシ33 マサバ豆17	8.4		17	642	3	73
	内之浦	中	0	-		-		0	-	3	14
	山川	中	0	-		-		0	-	0	-
	計	大	4	113		28.3		6	172	1	30
		中	9	87		9.7		21	698	10	213
	東海旋網	阿久根		0	-			0	-	0	-
		枕崎	1	294		294.1		1	198	1	78
棒受網	阿久根	5	3	長島	カクチイワシ68 キビナゴ32	0.6		21	14	6	3
	内之浦	0	-		-		0	-	0	-	
定置網	内之浦	44	17		ソウダガツオ13 マアジ小13 サバ類中10	0.4		48	10	45	29
刺網	阿久根	78	6	甌 牛深	キビナゴ100			83	10	48	4
	カツオ竿釣	大	1	433	カツオ中66 カツオ大19 カツオ小14	433.0		0	-	0	-
		小	0	-		-		0	-	0	-
	海外旋網	海旋	1	676	カツオ中47 カツオ小39 シビ10	676.0		2	1,424	0	-
	瀨戸内	小	-	-		-		0	-	1	5
	山川	0	-		-		0	-	1	5	
	海旋	1	743	カツオ小94 シビ3 マハチ2	743.0		1	704	1	813	

ブリ飼付け漁

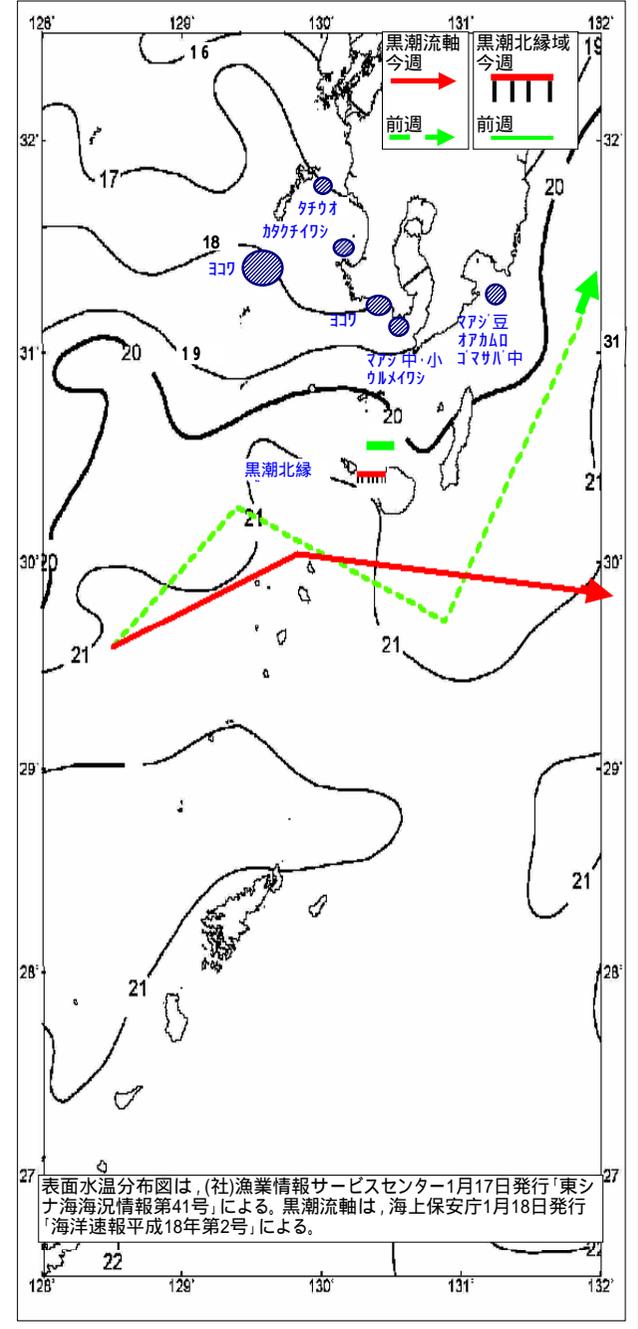
鹿児島湾口薩摩半島側では、5～6kgサイズを10～30尾/統・日、鹿児島湾口大隅半島側では、5kg主体に7～8kg混じりを30～40尾/統・日の漁。

一本釣・その他

甌島及び南薩海域では、曳縄でヨコワ(1kg主体)が80～100kg/隻・日と好調。西薩海域では、刺網でチダイ(200g)が5～8kg/隻・日、ヒラメ(1kg前後)が多い船で40kg/隻・日、刺網で1日のみマルアジを600kg/隻・日、釣りでマアジ(200～300g)主体に15kg/隻・日の漁。

熊毛海域では、一本釣りでゴマサバ(500g)及びゴマサバ(800～900g)主体に40～50尾/隻・日、サバフグ釣は、多い船で60kg/隻・日であったが、漁は本格化していない。

奄美海域南部では、ソテイカ(13～14kg)が10尾/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター1月17日発行「東シナ海海況情報第41号」による。黒潮流軸は、海上保安庁1月18日発行「海洋速報平成18年第2号」による。